

緊急地震速報の基準の変更等について(概要)

令和5年1月17日
庁議資料

○緊急地震速報の基準の変更(長周期地震動に関する予測情報)

- これまでの緊急地震速報は、下記のとおり震度の予想によって発表していました。
- 今後は発表条件に長周期地震動階級の予測値を追加して提供することとし、長周期地震動階級3以上を予測した場合でも、緊急地震速報を発表します。

○時期 : 令和4年度後半

○緊急地震速報(警報)の発表条件

赤字: 変更点

発表条件	震度5弱以上を予想した場合 +(または) 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 +(または) 長周期地震動階級3以上を予想した地域

緊急地震速報を見聞きしたら、
これまで通り身を守る行動をとる。
普及啓発の取組に御協力をお願いします。

○長周期地震動に関する観測情報

- 高層ビル等で被害をもたらす長周期地震動への対応として、「長周期地震動階級」(右図)を知らせる「長周期地震動に関する観測情報」を気象庁HPにて提供中。
- 令和4年度後半からはオンラインによる配信を開始し、現在、地震発生から20~30分程度で提供しているものを、**今後は10分程度で提供予定**。
- 高層ビル等の管理者利用者にとって重要な情報のため普及啓発の取組に御協力をお願いします。



長周期地震動階級関連解説表